



地域で活躍できる中学生に

校長 楯 博子

毎年、学校には多くのボランティア募集の依頼があります。多くは地域の催しのスタッフとしてのボランティアです。地域の方に中学生の活躍の場を設けていただいていることに感謝いたします。

今年度に入ってすでに2件のボランティア募集がありました。放送で呼びかけをすると、すぐに希望者が何名か集まります。自分たちが小学生だった時に、中学生ボランティアのお兄さんお姉さんに声をかけてもらったり、教えてもらったりした経験をもとに、「自分も中学生になったらやってみようと思っていた。」と言って申し込む1年生もいます。過去にボランティア活動をした生徒は、活動の楽しさと同時に、催しに参加したお客さんから感謝される喜び、主催者の大変さを知ること、自分から動くことの難しさなどを語ってくれます。

主催者からは、「指示されたことだけでなく、自分で考えて動ける中学生がいる。」「中学生ボランティアの力なくしてはこの催しはできない。」などと、お言葉を頂くこともあります。

ボランティア活動は、人の役に立つ経験、地域の人と一緒に地域を盛り上げる経験、学校生活だけでは関与できない多くの人との関わりなど、様々な経験ができます。学校では、中学生が地域で活躍し、地域に見守られることで、子どもたちにより郷土愛を育むことができると考え、ボランティア体験談を全校に広めるなどの取り組みを通して、より多くの生徒が地域と関わり、活躍できるようにしたいと考えております。

保護者の皆さんには、送迎など、子どもたちだけではできない部分をお願いすることになると思いますが、是非、子どもたちの思いを大切にご協力をお願いします。

また、先日「いのちを守る訓練」を行った際には、自分の身の安全が確保されたら、次は支援者になることを話しました。中学生は大人の入り口に立っています。支えてもらう立場でもありますが、支える立場にもなれるように、相手の気持ちを慮ること、自分にできることを考えること、仲間と協働することを大切にして、大人に準備されたボランティアだけでなく、地域で活躍できる中学生を目指していきたいと思っております。



